

■出会い・ふれあい・学び合い ～みんなで育てる山田っ子～（山田小学校）

1 【活動の趣旨】

本校では、地元特産野菜や近くの漁港などの地域の良さ、地域の人とのつながりを活かして、山田の子どもたちを育てる活動に取り組んでいる。また、子どもと大人が学び合い・かかわり合い・喜び合い・認め合うことを積み重ねながら、学校と地域が連携し『地域協働合校事業』を進めている。

2 【特徴的な活動内容】

○「ニゴロブナ稚魚の放流」

山田漁業共同組合の協力のもと琵琶湖にニゴロブナを放流する活動を続けている。今年度は、天候の影響で琵琶湖での放流はできなかったが、学校にて放流に関するお話を聞くことができた。この活動を琵琶湖の環境を考えるきっかけとし、5年生の琵琶湖環境学習につなげていく。



【ニゴロブナの放流（講話）】

○「室戸台風殉難慰霊式」

本校では、今から88年前の室戸台風で大勢の被害者が出た。地域の方々とともに、全校で持ち寄った花を献花し、歌い継がれた「学友の霊に捧げる歌」を歌う。今年度も代表児童のみ体育館に集まり、他の児童については、教室からのリモートでの参加とした。



【室戸台風殉難慰霊式】

3 【実施に当たっての工夫】

今年度も、コロナ禍の対応として、全校児童で集まることを避け、変更可能なものはリモートでの実施に切り替えた。学習を支えてくださった地域の方を招いて、感謝の気持ちを伝える感謝祭や学習内容を伝える発表会を開いた。



【北山田のビニールハウス】

4 【事業の成果】

校内掲示板の『地域協働合校コーナー』に数多くの活動写真を掲示することで、子どもたちが足を止め、自分たちの活動を振り返ったり、次の活動を楽しみにしたりする姿が見られた。また、歩いていける範囲に、漁港、ビニールハウスや農業センター、田畑などがあり、地域の方々の協力のもと、コロナ対策を行いながらも様々な体験を実施することができた。



【地域協働合校コーナー】

5 【事業実施上の課題・今後の実施に向けて】

今年度もコロナ禍において、高齢の方を学校に招いたり、行事に参加してもらったりすることが大変難しい状況であった。次年度についても、

感染状況等を十分に検討しながら進めていきたい。